

# ゾルベツキシマブ + XELOX療法

**+** 大津赤十字病院 薬剤部

## 【治療スケジュール】

以下のメニューのおくすりを3週間毎繰り返します。

|                                           |                                                                                     |    |                            | ← 1クール →                          |             |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------|-----------------------------------|-------------|
|                                           |                                                                                     |    |                            | 第1日目                              | 2～21日       |
| 薬剤名                                       | 外観                                                                                  | 液色 | 薬効                         | 投与方法                              | 点滴          |
| ① パロノセトロンバッグ<br>デカドロン注<br>アロカリス注<br>ボラミン注 |    | 無色 | むかつき、吐き気及び<br>お薬の過敏症を抑えます。 | ↓ 30分・点滴                          | お<br>休<br>み |
| ② 生食注                                     |    | 無色 | お薬を洗い流します。                 | ↓ 全開・点滴                           |             |
| ③ ビロイ注 <sup>®</sup><br>(ゾルベツキシマブ)         |    | 無色 | 細胞増殖を抑えます。                 | ↓ 3～4時間・点滴                        |             |
| ④ 生食注                                     |    | 無色 | お薬を洗い流します。                 | ↓ 全開・点滴                           |             |
| ⑤ オキサリプラチン注 <sup>®</sup><br>(オキサリプラチン)    |    | 無色 | 細胞増殖を抑えます。                 | ↓ 2時間・点滴                          |             |
| ⑥ 生食注                                     |   | 無色 | お薬を洗い流します。                 | ↓ 全開・点滴                           |             |
| カペシタビン錠 <sup>®</sup><br>(カペシタビン)          |  |    | 細胞増殖を抑えます。                 | ↓ 1日2回 14日間内服・7日休み<br>(第1日目夕より開始) |             |

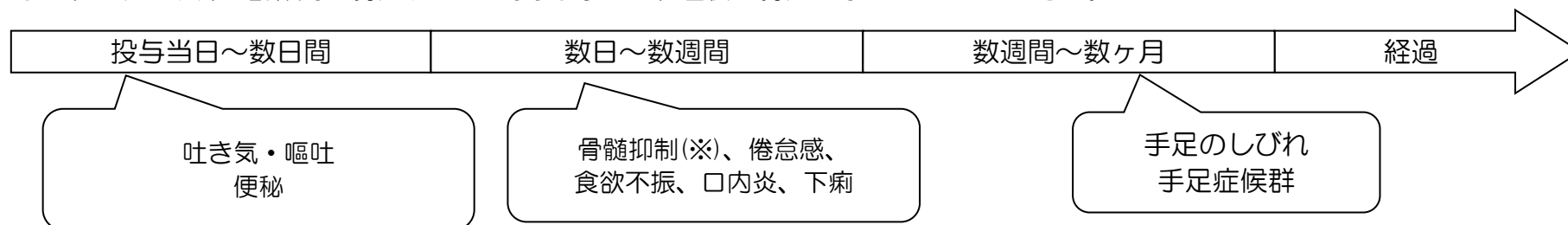
※お薬の投与速度・投与間隔が変わることがあります。また、症状に応じてお薬を変更・追加・削除することがあります。

## 【注意事項】

点滴中は安静にし、注射の針を刺している部分が動かないように心掛けてください。  
 お薬が皮膚に漏れると、針を刺している部分に違和感や痛み、腫れ、赤み等が現れることがあります。  
 このような症状がありましたら速やかにお知らせください。  
 また、このような症状は点滴終了後や、しばらくたってから起こることがありますのでご注意ください。  
 点滴後に持続的に手や足、口の周りがしびれたり、喉が締め付けられる感覚が続くことがあります。  
 これらの症状は冷たいものに触れると悪化しますので、冷たい飲み物や氷の使用を避け、体を冷やさないようにしましょう。  
 点滴中に吐き気を催すことがあります。吐き気が強い場合は速やかにお知らせください。  
 抗アレルギー薬を含むものがありますので、眠気やふらつき、転倒にご注意ください。また、点滴日のお車の運転はお控えください。

## 【副作用と発現時期】

ここにはあくまで一般的に予想される副作用が、いつごろ現れるかをお示ししています。  
これらの症状が必ず起こるということではありません。発現頻度・程度・時期には個人差があります。  
また、これら以外の副作用が現れることもありますので、症状が現れた時はお知らせください。



※骨髄は、血液成分である白血球・赤血球・血小板等を産生する臓器です。  
骨髄抑制とは、その機能が低下することを言います。

## 【注意が必要な副作用】

次に示すような副作用が報告されています。下記の症状が現れた時は医師または薬剤師へお知らせください。

- 骨髄抑制 : ★38℃以上の発熱、咳、下痢、排尿痛・残尿感、性器痛、肛門痛、  
鼻血、血便・血尿、歯茎出血、腕や足の赤い斑点、疲れやすい、めまい・息切れ
- 過敏症 : ★呼吸困難、じん麻疹、眼および口の周囲の腫れ、冷汗、頻脈
- 消化器症状 : ★突然の激しい腹痛、背部痛、重度の下痢、脱水症状、もたれ、胸やけ、吐き気、嘔吐、食欲不振
- 心障害 : ★呼吸困難、足などのむくみ、咳の増加、胸痛、みぞおちや頸部の締め付け、圧迫感、冷汗
- 腎障害 : ★顔・手足などのむくみ、尿量減少、尿が赤みを帯びる、体重減少、口の渇き、高度の蛋白尿
- 肝障害 : ★全身倦怠感、食欲不振、疲れやすい、腹部不快感、黄疸(皮膚や眼などが黄色くなる)
- 脳障害 : ★突然の激しい頭痛、意識障害、歩行時のふらつき、四肢末端のしびれ感、舌のもつれ、うまく話せない、  
けいれん発作、精神状態変化、視覚異常
- 皮膚障害 : ★中央に浮腫を伴った発疹、まぶた・眼球結膜の充血、口腔内の痛みを伴った粘膜疹
- 肺障害 : ★胸痛、意識障害、呼吸困難、(空)咳、発汗、発熱、ピンク色の痰がでる、尿量減少、むくみ
- 末梢神経障害 : ★感覚や運動の麻痺、手足のしびれ、手足の痛み

連絡先 大津赤十字病院

TEL 077-522-4131

平日8:30 ～ 17:00 受診されている診療科

平日17:00 ～ 翌8:30 及び 休日 救急外来

## 皮膚症状に対する治療薬について

グレード1



皮膚の紅斑と知覚過敏はあるが、無痛性

グレード2



腫脹を伴った紅斑で疼痛を伴うが日常生活に問題なし

グレード2



腫脹を伴った紅斑で疼痛を伴うが歩行に問題なし

グレード3



亀裂、潰瘍等による強い痛みで歩行困難となる

ゼローダ適正使用ガイドより抜粋

★以下のお薬は、皮膚の症状を予防するためのものです。  
治療のお薬が始まったら、一緒に使い始めて下さい。

| 分類  | 医薬品名                                                                                                            | 用法用量                 |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 保湿薬 | ヘパリン類似物質 <sup>®</sup> クリーム<br> | 1日6回<br>手のひら・足のうらの保湿 |

★以下のお薬は、皮膚の症状が出てきたら使用して下さい。

| 分類     | 医薬品名                                                                                                          | 用法用量                            |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| ステロイド薬 | アンテベート <sup>®</sup> 軟膏<br> | 1日2回<br>手のひら・足のうらに<br>赤み・痛みが出た時 |

### ★お薬を使用する際の注意点

- 2種類の外用薬が処方されますので、使用部位や回数を間違えないようにしましょう。
- 外用薬を重ねて塗る場合、保湿薬→ステロイド薬の順番で塗りましょう。
- 別に医師の指示がある場合は、指示に従ってお薬をご使用ください。

## 外用薬の塗り方（単純塗布法）

### ★ポイント

- 外用薬を塗る時は、必ず手を洗いましょう。
- 狭い患部に塗る時は、指の腹を使い、広い患部には手のひらを使います。
- お薬をすり込むのではなく、皮膚に刺激を与えないようにやさしく塗りましょう。

### ステロイド薬

指の腹でお薬をとり、患部に薄く塗り広げるように塗ります。

### 保湿薬

手にとり、塗る部分に点在させます。指先ではなく、手のひらを使って、やさしく丁寧に、出来るだけ広い範囲に塗ります。

## 外用薬の塗布量

- 外用薬の塗布量を表す単位として[FTU]が使われています。
- 1FTUとは軟膏剤・クリーム剤は人差し指の先端から第一関節まで絞り出した量、ローション剤の場合は手のひらに1円玉大に出した量を表します。
- 1FTUで大人の手のひら2枚分に相当する面積を塗布することができます。

